令和７年度　美瑛町立美瑛中学校　グランドデザイン

学校教育目標　未来を見据え、限りない可能性に駆ける生徒の育成

取組の合言葉「同じ山に登る」

めざす学校像

○心ときめく学校（感動）
○頼られる学校（信頼）
○啓発し合う学校（創意）

めざす具体的生徒像

○生きて働く知識・技能を確実に身につける生徒（知識・技能）
○失敗を恐れず果敢に挑むチャレンジ精神を持つ生徒（思考力・判断力・表現力）
○他者と目標を共有し、協働して解決できる生徒（学びに向かう力・人間性等）

めざす教師像

○指導力向上に向けて切磋琢磨し、研究と研修に励む教師（教育的力量を身につける）
○様々な人とコミュニケーションを図り協働できる教師（総合的な人間力を高める）
○明るく健康的で、生徒・保護者等から信頼される教師（教育的な熱情・真剣さ）

今年度の重点目標　「躍動」「実現」

更なる発展をめざして、上記の重点目標を掲げ、その具体を以下に示す。
◎これまでの美瑛中の教育活動の基盤となっている「生徒ファースト」の取組を継続し，生徒が活躍する場面を教育活動の様々な場面で意図的に設定し，有用感・肯定感を高めるとともに，自信をもって活動する生徒を育成する。
◎明確な目標や夢を持ち，その実現に向かって，時に仲間と協働し，時に切磋琢磨するとともに，自らも粘り強く努力を続ける生徒を育成する。

予防教育を重点とした支援　全員担任制　到達度テスト　生徒を主語にした取組

学校経営の重点

学習指導
１　新学習指導要領に基づき作成した本校教育課程のPDCAサイクルを確立させる。
２　一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む ICT 環境の充実を通して、協働的な学びの実現を図る。
３　評価の改善を行い、生徒自身に学力の向上を実感させるとともに、学習習慣の定着を図る。
４　個および集団での活動場面を設定し、有用感・肯定感を高める授業を実践する。

生徒指導
１　生徒指導提要の改訂の主旨をふまえながら，生徒指導の機能を活かし，心が通い合う，明るく生き生きとした豊かな人間関係を育む。
２　教育活動の中で，活躍の場面を設定し，自己実現に向かって努力する生徒を育成する。

特別支援
１　生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援を、情報や指導方針の共通理解のもと、全職員はもちろん、保護者や他機関と密接に連携した協働体制による取組を進める。

チーム美瑛中
１　生徒や保護者・地域の思い・願いに謙虚に耳を傾け、適切な情報発信や説明責任を果たし、保護者・地域や各関係機関と強く連携する「開かれた学校」「信頼される学校」づくりを進める。
２　義務教育で育成する児童・生徒像を共有し、９年間を見通した小中連携を進める。
３　学級・学年指導，分掌業務など，複数担当制により，学校力の向上を図る。

指導の重点と具体的実践事項

学習指導	学級・学年経営	道徳教育	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	キャリア教育	健康・安全指導	特別支援教育	部活動
生きる力の確実な定着を目指し、「主体的・対話的で深い学び」「個別最適で協働的な学び」のある授業を推進する。	「心の居場所」「活躍の場」のある「学年・学級経営」を推進する。	自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ、また、やさしさや思いやりの心を育む「道徳教育」を推進する。	多様な他者との関わりの中で、より良い人間関係を形成するとともに、自己実現を図ろうとする態度を養う「特別活動」を推進する。	探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、自己の生き方を考えるための資質・能力を育む「総合的な学習の時間」を推進する。	生徒指導提要の改訂の主旨をふまえながら、望ましい生徒の成長を促す。	学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付ける「キャリア教育」を推進する。	自ら心身を鍛える「健康・安全指導」を推進する。	予防教育の視点を重視し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた「支援教育」を推進する。	生徒同士や 教師等との好ましい人間関係の構築を図り、学習意欲の向上や自己肯定感、 責任感、連帯感の涵養に資するなど、生徒の多様な学びの場とする。

支える条件の重点と具体的実践事項

教育課程	研修	家庭・地域との連携	職場環境（働き方改革）	教育環境	管理事務
教育課程を介して学校教育目標が達成されているか検証し、改善を図る。（PDCA サイクルの確立）	教師の指導力向上に向けた校内研修を推進する。	信頼を高める「開かれた学校」づくりを推進する。	教育の質を高める「チーム美瑛中」を推進する。	豊かな感性を育む「学びの環境」の充実を推進する。	適正かつ効率的な学校運営を担う「学校事務」を推進する。